



橘流寄席文字書家 橘 右門

2025年10月23日(木)

18時00分開演(開場17時30分)

※17時00分より会場受付にて整理券を配布します。

開場前はロビーでお待ちいただけません。

板橋区立文化会館小ホール

■住所・アクセス

〒173-0014 東京都板橋区大山東町51-1

東武東上線「大山」駅北口より徒歩約3分

都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口より徒歩約7分

※公共交通機関をご利用ください。

【主催・お問合せ】公益財団法人板橋区文化・国際交流財団
TEL:03-3579-3130(平日9時～17時)

チケット購入

全席自由 1,500円 発売日 2025年8月21日(木)

※未就学児入場不可

■板橋区立文化会館チケットカウンター TEL:03-3579-5666

(9時～20時) ※施設点検日は17時まで

■インターネット予約

(24時間受付。発売初日9時～公演日前日まで)



■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 【コード:533-779】

■区内チケット取扱店

※店頭にて先着順で販売致します。(電話予約不可)
※定休日、営業時間は各店舗にお問合せ下さい。

中板橋商店街	中板堂	03-3579-0010
宮の下商店街入口	大野屋文具店	03-3956-1417
板橋駅前本通り商店街	時計・宝飾・メガネ「光輝」	03-3964-6511
志村坂上駅A3出口横	書林朝日書店	03-3966-5840
成増駅北口前	長太郎不動産(成増駅北口前店)	03-3938-0002

鳴り物とは

落語や寄席で使われる太鼓や笛、鐘などの楽器による効果音のことです。
登場人物の動作や場面の変化、季節感などを音で巧みに表現し、物語に臨場感を与えます。
今回はその鳴り物をテーマに、おなじみのメンバーが趣向をこらした噺を披露します。

柳家小せん

横浜平沼高校、明治学院大学国際学部卒。
1997年に入門し、『鈴々舎わか馬』。
2000年に二ツ目、2010年に真打昇進し、
五代目『柳家小せん』を襲名。
受賞歴に『北とぴあ若手落語家競演会大賞』
『国立演芸場花形演芸大賞 金賞・銀賞』など。
板橋落語会には前座時代から関わり、
今年で24年目。
ご常連の温かな雰囲気の中、演目の幅を広げて
“マンネリ回避”を意識している。
思い入れのある一席は、原点を思い出させてくれる
『道灌』。

メッセージ：老いも若きも、予備知識とか無くても、
ふらっと足を運んで気楽に楽しめる、
そんな娯楽でありたいと日々精進しています。

柳家燕弥

岐阜県岐阜市出身。2000年に柳家権太楼に
入門し、『さん太』。
2004年に二ツ目昇進して『右太楼』、
2015年に真打昇進『燕弥』。
受賞歴に『北とぴあ若手落語家競演会 奨励賞』。
思い出深い演目は『黄金餅』。
途中しくじったのをなんとか取り戻したのを
お囃子さんに褒めてもらったことで、
最後まであきらめないことを学んだ。

メッセージ：板橋落語会は地元の皆様方に
支えられて三十数年経ちました。
四十年五十年を迎えられるよう、
頑張りますのでこれからも
ご最員の程、宜しくお願いします。

柳家風柳

大阪府出身。近畿大学商経学部卒業後、
2007年に鈴々舎馬風に入門し、『やえ馬』。
2011年に二ツ目昇進して、『八ゑ馬』。
2022年に真打昇進して『柳家風柳』。
令和4年度 国立演芸場「花形演芸大賞 銀賞」受賞。
江戸・上方・新作問わず、幅広い芸を持ち味とする。

メッセージ：板橋の雰囲気は、
大阪のような温かさがあると感じており、
堂々と上方ネタも披露できます。
落語を通して板橋を盛り上げたいという思いで、
全力で演じていますので是非お越しく下さい！

講談

神田織音

1999年に神田香織に入門し『おりね』。
2003年に二ツ目昇進して『織音』、2011年に真打昇進。
講談の魅力は、物語の世界に自由に入り込み、
知識や想像力を広げてくれること。
板橋落語会では、落語と講談を一度に楽しめるのが
大きな魅力。
演目選びでは、長い講談の中から持ち時間に合う
話を工夫して選んでいる。
思い出深い高座は、2011年の『文七元結』。
萬窓師匠の高座を袖で聴きながら、
講談、話芸の持つ無限の力を実感。

メッセージ：講談は、その時々のお話を自由に
楽しんでいただけましたら幸いです。
私は何度も読んだお話に新たな発見ができた時に
「講談で深いなあ」と嬉しくなります。板橋落語会で
落語と共にぜひ講談もお楽しみください。

春風亭三朝

中央大学卒業後、2002年に春風亭一朝に入門
して『朝也』。
2005年に二ツ目、2017年に真打昇進して『三朝』。
『NHK新人落語大賞』
『北とぴあ若手落語家競演会』など多数受賞。
テレビ・ラジオ出演や、AKB48との共演歴も。
板橋落語会には2006年から出演。
出演者が毎回そろってネタ出しし、
お客様全員を見送るスタイルは珍しい。
地元密着の雰囲気を大切にしていると語る。

メッセージ：出演者は全員地元板橋区在住で、
お客様も地元の方が多く。
そんなアットホームな雰囲気が
とても心地が良いです。

柳家福多楼

福岡県出身。2009年に柳家権太楼に入門し、
『おじさん』。
2013年に二ツ目昇進して『さん光』。
2023年に真打昇進。
『福』と『多くの福を届けたい』という願いを込め
て『福多楼』に。
49歳、趣味は“おしゃれ”。
地域密着の板橋落語会だからこそ、
商店街で声をかけられる経験も。「子ほめ」は
入門後初めて教わった思い出の演目で、
いつか板橋で披露したいと語る。

メッセージ：落語に難しいことは一切ござい
ません！
まずはお気軽に“いたらく”へお越しく下さい！